

特例適用混和の開始・休止・終了申告書

收受印

整理番号		※	
平成 年 月 日	申 告 者	(住所) 〒 -	(電話) 局 番
税務署長 殿		(氏名又は名称及び代表者氏名) (ふりがな) ⑩	
租税特別措置法第 87 条の 8 及び租税特別措置法施行令第 46 条の 8 の 2 の規定により下記のとおり申告します。 記			
営業場の所在地 及び名称	(電話) 局 番		
混和の開始年月日	平成 年 月 日		
混和を休止しようとする 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
混和の終了年月日	平成 年 月 日		
混 和 の 方 法			

特例適用混和の開始・休止・終了申告書（CC1-5616）の記載要領

- 1 この申告書は、酒場、料理店その他酒類を専ら自己の営業場において飲用に供することを業とする者が、次の事項に該当する場合に当該営業場の所轄税務署長に対して提出してください。
 - (1) 特例適用混和を開始する場合
 - (2) 特例適用混和を1年以上休止しようとする場合
 - (3) 特例適用混和を終了した場合
- 2 開始、休止、終了のうち不要の文字を抹消してください。
- 3 「混和の開始年月日」欄は、混和を開始する年月日を記載してください。
- 4 「混和の休止期間」欄は、混和を休止しようとする期間を記載してください。
- 5 「混和の終了年月日」欄は、混和を終了した年月日を記載してください。
- 6 「混和の方法」欄は、混和を開始する場合に、予定している混和方法について、例えば「連続式蒸留しょうちゅうに梅の実及び氷砂糖を加える」のように使用する蒸留酒類の品目及び混和する物品を具体的に記載して下さい。
- 8 ※印欄には記載しないでください。